令和2年度

事業報告書

公益財団法人 やまぐち産業振興財団

令和2年度事業報告書 目次

Ι	7	概	況	1	l
П	;	実施	事	業の概要····································	<u> </u>
	1	管Ŧ	里運	置営 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u>)</u>
		((1)	理事会	
		((2)	評議員会	
		((3)	賛助会員	
		((4)	監査	
		((5)	基金	
		((6)	役職員の状況	
	2	新型	型 그	ロナウイルスに係る対策支援・・・・・・・・・・・・・・・・5	
	3	経語	営課	- 関題に係る相談・支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9)
	-	アロ	中小	企業等総合相談事業	
			(1)	中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業(よろず支援拠点	į)
			(2)	総合相談体制整備事業	
			(3)	経営・技術診断助言事業	
			(4)	首都圏等プロフェッショナル人材還流促進事業	
		1 -	中小	企業再生支援・事業引継ぎ支援事業	
		((1)	中小企業再生支援協議会事業	
		((2)	経営改善支援センター事業	
		((3)	事業引継ぎ支援センター事業	
	1	ウ゠	事業	承継・世代交代集中支援事業	
		((1)	プッシュ型事業承継支援高度化事業	
	4	経	堂•	技術等に係る情報の収集・提供及び情報化の支援 ・・・・・・・ 1	15
	•	ア ヤ	青報	最収集・提供事業 おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おお	
			(1)	情報提供事業	
			(2)	企業支援情報整備事業	
		1 -	中小	へ企業等の情報化促進事業	
			(1)	情報化促進事業	
	5	経語	堂•	技術等の人材育成 ・・・・・・・・・・・ 1	15
		アギ	径営	・技術等の人材育成事業	
			(1)	科学技術普及啓発事業	
			(2)	経営意識向上研修事業	
			(3)	経営管理・技術研修事業	
			(4)	産業人材創造事業	
			(5)	やまぐち高度技術者・研究者OB等人材バンク事業	

6 設備投資の支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
ア 設備貸与事業	
(1) 小規模企業者等設備貸与事業	
(2) 新事業活動支援設備貸与事業	
(3) 旧設備資金貸付事業等に係る債権管理	
7 創業及び事業化の促進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
ア 製品等の評価(目利き)に関する事業	
イ 創業・事業化支援コーディネート事業	
(1) 県内創業・事業承継促進事業	
(2) 創業補助金フォローアップ事業	
ウ 中小企業等投資支援事業	
(1) ベンチャー企業支援事業	
(2) ファンド投資支援事業	
8 販路開拓の支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
ア 下請取引あっせん事業	
(1) 下請取引あっせん事業	
イ 販路開拓・販路拡大促進事業	
(1) 環境関連製品販路開拓事業	
(2) 販路開拓支援事業	
(3) 航空機・宇宙機器産業参入促進事業	
(4) 海外展開総合支援事業	
(5) 中小企業スマートビジネス推進事業	
(6) やまぐち頑張る企業応援プロジェクト事業	
(7) 新型コロナウイルス対策営業持続化等支援事業	
(8) 中小企業再始動支援事業	
9 技術研究開発等の支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35
ア 新製品の研究開発等に関する助成等事業	
(1) メカトロ技術センター運営事業	
(2) 債務保証事業	
10 技術交流・技術移転の促進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	36
ア知財活用支援事業	
(1) 中小企業等知財支援事業	
(2) 中小企業等外国出願支援事業	
事業報告の附属明細書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	38

I 概 況

令和2年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、依然として厳しい状況にあり、「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」発出等の感染拡大防止の対策がとられると、社会経済活動を大幅に抑制することとなり、景気は、大きく落ち込んだ。令和2年度の国内総生産(GDP)は前年度比4.6%減となり、リーマンショック時のマイナスを上回り、統計として残る昭和31年度以降で、最悪のマイナス成長となった。

こうした中、山口県では昨年「『コロナの時代』に対応するための施策推進方針」を策定され、 感染拡大防止と経済活性化のための施策重点化、危機から生まれた変化を成長へ、特にデジ タル化の推進・取組の加速化を掲げられている。

当財団では、県の施策と連携しながら、県内全域を対象に、中小企業の発展・成長段階に応じた総合的な支援を、コロナ禍の中での様々な制約を受けながらも柔軟に対応、実施してきた。特に新型コロナウイルス感染症の影響による県内中小企業の売上減少等に対応するため、既存の補助金に「新型コロナウイルス感染症関連枠」を設定、新規でコロナ枠助成金、販路を失った企業の首都圏での大規模展示会への出展支援など、迅速に対応してきた。

1 重点支援内容

(1) 新型コロナウイルス感染症関連対策事業

期中の補正事業として新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた企業を対象に補助金、販路開拓の支援を行った。

- 営業持続化補助金(中小企業分)100,000 千円 (予算枠)
- · 中小企業再始動補助金 800,000 千円 (予算枠)
- ・ 大規模展示会出展支援 首都圏等開催展示会出展支援 ほか

(2) やまぐち頑張る企業応援プロジェクト -地域資源活用等促進事業-

県内中小企業の人材をデータサイエンティストやグローバル産業人材へ育成するプログラム、また製品を市場・出口を見据えた改良やプロモーションの支援を実施している。令和5年度までの複数年実施の事業であるため、コロナ禍の中、特に海外展開にかかる支援などについては、企業のニーズを再確認し、オンライン活用での内容に変更し実施した。

(3) プロフェッショナル人材の還流促進支援

県内企業の「攻めの経営」を具現化するため、各企業の人材ニーズの掘り起こし、 首都圏等在住のプロ人材とのマッチング、副業・兼業など多様な雇用形態を活用し、 人材確保を促進した。

(4)後継者育成と事業承継を一体的支援

経営者としての知識の習得、また資質の向上に加え、承継後のネットワーク構築を 目指して後継者育成支援プログラムを創設した。事業引継ぎ支援センター(令和3年度 から事業承継・引継ぎ支援センター)と連携を図り、事業承継の具現化に向け支援を行 った。

以下、具体的事業内容について報告する。

Ⅱ 実施事業の概要

1 管理運営

(1) 理事会

(1) 埋事会 区 分	開催日	場所	議事
令和2年度 第1回理事会	令和2年 5月28日 (木)	書面決議	(報告) ・令和2年度業務執行状況報告 ・第四期中期経営計画進捗状況報告 (議案) ・令和元年度事業報告及び収支決算報告 ・第四期中期経営計画の改定 ・令和2年度評議員会の招集
令和2年度 臨時理事会	令和2年 6月15日 (月)	書面決議	(議案) ・理事長の選定について ・副理事長の選定について
令和2年度 臨時理事会	令和2年 6月30日 (火)	書面決議	(議案) ・評議員会招集について
令和2年度 第2回理事会	令和2年 7月14日 (火)	山口市 山口 グランド ホテル	(報告) ・令和2年度業務執行状況報告 ・山口市産業交流拠点施設への財団移転について (議案) ・令和2年度収支予算の補正(案) について
令和2年度 第3回理事会	令和3年 3月24日 (水)	山口市 セントコア 山口	(報告) ・令和2年度業務執行状況報告 ・事務所移転準備状況報告 (議案) ・令和2年度収支予算の補正について ・令和3年度基金の処分について ・令和3年度事業計画及び収支予算について ・令和3年度事業計画及び収支予算について

(2) 評議員会

区分	開催日	場所	議事
令和2年度 第1回 評議員会	令和2年 6月15日 (月)	山口市 翠山荘	(報告) ・令和元年度業務執行状況報告について ・令和2年度事業計画書及び収支予算書について ・第四期中期経営計画進捗状況について ・山口市産業交流拠点施設への財団移転について (議案) ・評議員の選任について ・理事の選任について ・監事の選任について
令和2年度 臨時評議員会	令和2年 7月3日 (金)	書面決議	(議案)・評議員の選任について・理事の選任について・監事の選任について

(3) 賛助会員

当財団の事業の維持・強化を図るため、賛助会員制度(年会費1万円)を設けており、令和2年度は、これまでで最大となる397社の加入があった。

(4) 監査

監事監査

日 時 令和3年5月18日(火)10:00~11:00

事 項 令和2年度事業報告及び決算報告

(5) 基金

令和3年3月31日現在における財団の基金の額は、次のとおりである。

① 基金区分別 (単位:千円)

基 金 区 分	出捐金	剰余金繰入額	合 計
1 基本財産	522, 540	70, 513	593, 053
2 債務保証基金	72, 350	38, 291	110, 641
3 研修指導・調査研究基金	544, 360	0	544, 360
4 研究開発助成基金	186, 800	0	186, 800
5 地域科学技術振興基金	467, 000	0	467, 000
合 計	1, 793, 050	108, 804	1, 901, 854

② 出捐者区分別

(単位		-	ш \
	•	-	ш١
\ + 1\\		千	1 1/

		区	分	金額	割合
県				927, 000	48. 7%
市	町	村		324, 550	17. 1%
			テクノ圏域内	302, 000	15. 9%
民	間		テクノ圏域外	239, 500	12.6%
			小 計	541, 500	28.5%
剰	余	金		108, 804	5. 7%
_		合	計	1, 901, 854	100.0%

(6) 役職員の状況

役員数(うち地方公共団体出向者・退職者)	役員平均年齢	常勤役員(1名)年収
12名 (1名)	60.7歳	4,809千円
職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)	職員平均年齢	職員の平均年収
28名 (3名)	50.1歳	4,555千円

2 新型コロナウイルス感染症に係る対策支援

新型コロナウイルス感染症の影響による県内中小企業の売上減少等に対応するため、既存の補助金に「新型コロナウイルス感染症関連枠」を設定、補正予算により新規事業としてコロナ枠助成金、販路を失った企業の首都圏での大規模展示会への出展支援など実施した。

(1) 新型コロナウイルス感染症関連枠 (既存補助事業)

補助金の概要 募集期間 3月24日~4月7日

事業名	補助金の概要(新型コロナウイルス感染症関連枠)
海外展開総合 支援事業	・海外への新たな販路開拓経費への補助・海外での新たなサプライチェーン構築経費への補助補助率:1/2、補助上限:500 千円、公募件数:20 件 実績:21 件 9,397 千円 ※4 月 10 日交付決定
中小企業スマートビジネス推進事業	・新商品・新サービスの開発等経費への補助 補助率:1/2、補助上限:1,500 千円、公募件数:20 件 実績:21 件 27,929 千円 ※4 月 10 日交付決定
産業人材 創造事業	・従業員の研修経費への補助 補助率:1/2、補助上限:30 千円/回、公募件数:100 件 実績:1 件 150 千円 ※4 月 8 日交付決定

(2) 新型コロナウイルス対策営業持続化等支援事業 (補正:新規事業)

新型コロナウィルス感染症により大きな影響を受けている事業者に対して、営業 の維持及び発展を図る取組を支援した。

- (ア) 募集期間 5月11日~29日
- (イ) 交付決定状況 ※6月10日交付決定

補助率	補助上限額	交付決定件数	交付決定額
3/4	300 万円	30 件	72,900 千円

- (ウ) 事業実施期間 6月11日(木)~8月31日(月)
- (エ) 主な業種 宿泊業・飲食サービス、食品製造業
- (オ) 事業例
 - テイクアウトやデリバリーへの業態変更
 - ソーシャルディスタンスを保つための店舗改装、ライブハウスのネット中継機材 新商品開発やネット販売の立ち上げ費用

(3) 中小企業再始動支援事業

(ア)中小企業再始動補助金 (補正:新規事業)

新型コロナウィルス感染症により大きな影響を受けている事業者に対して、感染リスクに配慮した環境整備や新事業展開等を通じて事業活動の再始動に向けた意欲ある取り組みを支援した。売上高が年率平均3%以上向上を目指す。

- (a) 募集期間 7月15日~8月4日
- (b) 交付決定状況等

(金額単位:千円)

区 分	補助率	補助上限額	額*	交付決定件数	交付決定額
		一般型	5,000	79 件	303,643
事業環境整備型		企業連携型	10,000	6 件	57,608
	2 /4	小 計		85 件	361,251
新製品・新サー	3/4	一般型	5,000	84 件	370,716
対表品・利り		企業連携型	10,000	7 件	70,000
ころ寺州先生		小 計		91 件	440,716
	合	計		176 件	801,967

*補助下限額 100万円

(b) 事業対象期間

8月28日~2月28日

(c) 主な業種

製造業(食品、機械、金属)、卸売業・小売業、サービス業

- (d) 事業例
 - ○事業環境整備型
 - ・従業員が感染した場合でも事業継続を可能とする情報共有のシステム構築
 - ・ Web 会議やリモートワークの環境整備
 - ・ 生産方式の改善により職員の密集化を防ぐ環境整備
 - ・ セルフレジの導入
 - AR(拡張現実)などの IT ツールを活用した EC サイトの構築 など
 - ○新商品・新サービス等開発
 - ・ 海外で生産している部品の国内回帰など、取引先のサプライチェーンの見直しに 対応するための設備投資
 - オンラインでのサービス提供のための機器購入やシステム構築 (オンラインウェディングなど)
 - 客室をリニューアルし、ワーケーションのサービスを提供
 - ・ ネット販売に適した商品の開発など、新事業・新商品の開発
 - ・ オンライン配信を行う企業を支援する事業を行うための機材購入 など

(イ) 大規模展示会等での販路開拓支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、販路を失われた県内中小企業の展示会出展への支援を行うことで、新規に販路を開拓し、企業の経済活動の再始動に繋げることを目的に、首都圏で開催される大規模展示会への出展企業を募集し、その出展料の負担軽減を図った。また、オンラインとリアルのハイブリッド型商談会を開催し、県内外発注企業との取引あっせんを実施した。 実績額 37,480千円

〇大規模展示会

時期	展示会	出展 社数
11月11日(水)~13日(金)	Japan Home & Building Show 2020 (第 15 回ふるさと建材・家具見本市) (東京ビッグサイト)[内容] 住宅、商業施設、複合型施設などにおける建材・部材・サービスを一同に集めた総合展示会[成果] 名刺交換:151件、見積依頼:14件、成約件数:4件、成約金額:2,220千円 訪問社数:32社、電話・メール等のPR:66件HOSPEX JAPAN 2020 (東京ビッグサイト)[内容] 医療・福祉施設のための設備・機器の総合展示会であり、日本医療福祉設備学会との併設展示会であり、日本医療福祉設備学会との併設展示会であり、日本医療福祉設備学会との併設展示会[成果] 名刺交換:149件、見積依頼:1件、成約件数:0件訪問社数:25社、電話・メール等のPR:4件	3 社 1団体
1月20日(水) ~22日(金)	第35回インターネプコンジャパン [内容] 最新の製造技術・実装技術等の総合展示会 新型コロナ感染症拡大から出展中止	予定 3 社
2月3日(水)~5日(金)	第 25 回機械要素技術展 [内容]機械部品、加工技術、表面処理などの総合展示会 新型コロナ感染症拡大から出展中止。資料展示のみ	予定 4 社
3月9日(火) ~12日(金)	FOODEX JAPAN2021 [内容] アジア最大級の食品・飲料の専門展示会 新型コロナ感染症拡大から出展中止。資料展示のみ	予定 10 社

○広域商談会

<ニーズ調査>

調		查		時		期	6 月	11 月
調	査	対	象	企	業	数	(関西以西) 815 社	1,377 社
回	答	Ę.	企	1	業	数	136 社	151 社
発	注	希	望	企	業	数	20 社	13 社
商	談会	出	席希	望	企業	数	42 社	19 社

<商談会>

商	談	会	名	第1回	第2回
期			間	10月1日 (木)	3月3日 (水)
場所			所	山口グランドホテル(山口市) ※オンラインとリアルのハイブリッド型商談会	
参	加 红	企 業	数	発注企業 10 社 受注企業 21 社	発注企業 8 社 受注企業 19 社
成	Ę	₽ R	等	商談件数 68 件 商談成立件数・金額 フォロー調査中	商談件数 44 件 商談成立件数・金額 フォロー調査中

3 経営課題に係る相談・支援

ア 中小企業等総合相談事業

(1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業(よろず支援拠点)

中小企業・小規模事業者が抱えるあらゆる悩みに対応するため、具体的なアドバイスや支援機関等との連携促進を行う「山口県よろず支援拠点」を平成26年に設置。

チーフコーディネータ及び10名のコーディネータが、既存の支援機関では十分に解決できない経営相談に対し、「専門性の高いアドバイス」、事業者の課題に応じた適切な「チーム編成を通じた支援」、「地域の支援機関の紹介」、「継続的なフォローアップ」等の支援を行った。

今年度は新型コロナウイルス感染症の経営相談窓口として機能し、経営持続化給付金、家賃支援給付金、雇用調整助成金の支援も積極的に行った。

全国本部が毎年実施する「活動実績ランキング」では、全国12位(H30年度10位、 R1年度6位、R2年度12位)となった。

(ア) 相談の状況

相談対応件数は、対前年比で約1.33倍の11,348件となった。内訳は、①施策情報に関する相談が18.9%で最も多く、国や県・市の給付金や補助金、雇用調整助成金の相談があった。次いで②経営知識18.2%は、あらゆるお問合せに対しての件数である。③IT(情報発信)15.2%はSNS活用やECサイト構築の支援、④IT(内部管理)は、10.9%で動画やオンラインの配信、テレワーク活用の際のセキュリティ対策が相談であった。

また、雇用労務は、昨年度の555件の相談があり、相談内容の多くが雇用調整助成金の活用と申請についてで、他に相談窓口がなく拠点の利用に至ったケースもあった。

来訪相談者の減少は、コロナウイルス感染症の影響を受ける中で、拠点への来 訪からオンライン、メール・電話相談に変更したためである。オンライン、メー ル・電話相談に変更した件数は3,144件である。

対応件数	令和2年度	令和元年度	増減
相談対応件数	11,348件	8,514件	2, 834
来訪件数	2,126件	3,737件	▲ 1,611
課題解決件数	857件	694件	163

中期経営計	画 (件数)
目標	実績
5, 441	11, 348
2, 192	2, 126
294	857

相談内容	相談対	応件数	割合
性談門谷	令和2年度	令和元年度	割合
IT(情報発信)	1, 727	2, 116	15. 2%
施策活用	2, 043	1, 083	18.9%
経営知識	1, 954	837	18.2%
広告デザイン	1, 079	821	8.5%
雇用労務	555	560	4.8%
販路提案	533	473	4.6%
広報戦略	297	395	2.7%
IT(内部管理)	1, 125	386	10.9%
商品開発	181	381	1.6%
商品デザイン	349	372	3%
事業計画策定	555	322	4.8%
資金繰り	227	260	1.9%
現場改善・生産性向上	127	162	1.1%
市場設定	172	145	1.5%
法律	217	51	1.9%
知的財産	54	39	0.4%
事業連携	119	38	1.1%
海外展開	7	25	0.06%
市場調査	8	19	0.07%
地域資源活用	0	19	0%
その他	22	10	0. 2%
計	11, 351	8, 514	100.0%

(イ) 相談者の業種別内訳

相談企業数は、1,536事業者となり対前年比約1.26倍、業種別にみると①サービス業(美容業、エステ、クリーニング、整体・整骨等)29.4%、②製造業13.8%、③小売業10.8%、④宿泊業・飲食業10.2%となっている。

不明は新型コロナウイルスの影響を受ける中、匿名希望で電話やメール相談を 受けている件数である。

₩ 1€	相談	生	
業種	令和2年度	令和元年度	割合
サービス業	453	372	29.4%
製造業	212	210	13.8%
小売業	167	134	10.8%
宿泊業・飲食業	157	125	10.2%
建設業	97	104	6. 3%
農業・漁業・林業	93	49	6.0%
卸売業	53	41	3.0%
医療・福祉	57	37	3.4%
情報通信業	12	17	1.4%
運輸業	10	10	0.7%
金融業・保険業	14	10	0.9%
生活関連サービス業、娯楽業	2	3	0.1%
不明	139	2	9.4%
不動産業、物品賃貸業	1	1	0.1%
教育、学習支援事業	1	1	0.1%
その他	68	105	4.4%
計	1, 536	1, 219	100.0%

(ウ) 新型コロナウイルス感染症に係る経営相談

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、山口県よろず支援拠点内に経営相談窓口を令和2年1月30日設置。

経営持続化給付金、家賃支援給付金、雇用調整助成金、中小企業庁事業再構築補助金の申請に係る相談を中小企業診断士と社会保険労務士が中心となり積極的に受けた。

(2) 総合相談体制整備事業

中小企業等に対する支援施策を一貫して管理するため、総合経営支援部長をプロジェクトマネージャーとし、同部職員4名をサブマネージャーとして配置し、よろず支援拠点と連携して、相談・助言・情報提供・支援機関の紹介などを行った。

(ア) 情報提供事業

中小企業及び商工関係団体等に役立つ情報を収集・創出し、ホームページで随時情報提供を行った。

(1) 企業支援情報整備事業

中小企業等への指導・支援内容等をデータベース化し、財団内での情報の共有化を図り、中小・ベンチャー企業等にきめ細かい総合的な支援を行うための企業カルテシステムの管理・運営を行った。 ・現在の登録企業数:10,674社

(3) 経営·技術診断助言事業

創業者や経営の向上を図る中小企業が抱える種々の問題に対して、民間の専門家 を派遣し、個別に支援を行った。

派遣企業数:3企業派遣回数:16回

・主な支援要請内容:新製品開発支援、 人材育成支援、販路開拓支援、技術 指導、経営改善計画支援等

中期経営計画 (件数)				
数/評価	目標	実績		
派遣企業数	15	3		
派遣回数	75	16		
改善した-評価	平均70%以上	調査中		

(7) 専門家派遣企業審査選定委員会

専門家派遣企業審査選定委員会を開催し、経営の向上を図る中小企業等の求め に対して、経営、技術、情報化等に係る診断・助言を行う専門家派遣の適否につ いての審査を行った。

委員会開催状況

・開催回数:3回 ・派遣申請数:3企業 ・派遣決定数:3企業

(4) 首都圏プロフェッショナル人材還流促進事業

地域経済の成長力を高めるため、県内中小企業等の「攻めの経営」や経営改善への意欲を喚起し、首都圏等に在住するプロフェッショナル人材の活用による経営革新の実現を促すとともに、副業・兼業を含めた多様な形態でのプロフェッショナル人材の県内への還流を促進した。

事業統括1名、統括部長1名、担当部長3名(県内金融機関から3名現職出向)、コーディネータ3名、スタッフ1名 計9名の体制で企業ニーズの掘り起こし、職業紹介事業者への取次ぎ、マッチングサポートを行った。

また、UJI ターンセミナー、副業・兼業人材活用セミナーなど開催し、還流人材の啓発を行った。

項目	実績	備考
人材相談数(KPI:400件)	404 件	
成約件数(KPI:60件)	58 件	就業:39件、 副業・兼業:19件
県内企業訪問数	585 社	
企業情報シート作成数	157 件	
補助金支出件数	26 件	就業:12件、 副業・兼業:14件

中期経営計画			
目標	実績		
400 件	404 件		
60 件	58 件		

セミナー開催回数	5 回	延べ86名参加	
マッチング会開催回数	4 回	県内企業 20 社、 県外等求職者 294 名	
人材協議会開催回数	2 回		

イ 中小企業再生支援・事業引継ぎ支援事業

(1) 中小企業再生支援協議会事業

中小企業の経営破綻を未然に防止するため、「山口県中小企業再生支援協議会」を設置し、中小企業に対する相談対応並びに、新規事業分野への転換、販路開拓、合理化によるコスト削減等を目的とする再生計画策定支援等を行うことにより、中小企業の再生を支援した。

(ア) 支援業務部門

統括責任者としてプロジェクトマネージャー1名、これを補佐する統括責任者 補佐として金融機関からの現役出向者1名を含むサブマネージャー4名、事務職 員2名の計7名の体制にて、個別の事案に対応した再生支援を行った。

(化) 事業実績等

新規相談企業数	74企業(第一次対応、累計737企業)		
相談延べ件数	233件(第一次対応、累計3,835件)		
再生計画策定支援完了企業数	43企業(第二次対応、累計318企業)		
雇用確保数	1,135名(累計9,268名)		
バンカミュニーハンが即爆同粉	二次対応移行バンクミーティング 47回(持ち回り含む)		
バンクミーティング開催回数	計画策定完了バンクミーティング 43回(持ち回り含む)		

中期経営計画 (件数)			
件数	目標	実績	
窓口相談件数	30	74	
計画策定支援 完了件数	24	43	

(2) 経営改善支援センター事業

再生支援協議会内に「山口県経営改善支援センター」を設置し、センター長1名、 専門相談員2名、事務職員1名により、経営革新等支援機関の中小企業への経営改善計画及び早期経営改善計画の策定支援に要する費用の一部負担を行い、中小企業の経営改善・事業再生を促進した。

- · 経営改善計画策定支援利用申請件数 41件
- •早期経営改善計画策定支援利用申請件数 11件

中期経営計画 (件数)					
件数	目標	実績			
利用申請受付件数	60	52			
計画策定費用支払受付 完了件数	40	61			

(3) 事業引継ぎ支援センター事業

統括責任者1名、専門相談員6名、経営者保証コーディネーター1名の体制で、 中小企業の事業承継に係る相談に幅広く対応した。

実績については、以前の相談先へのアプローチを積極的に行ったことやきめ細かい相談対応を行った結果、相談件数は目標を達成できたが、4月から5月にかけ在宅勤務を余儀なくされ十分な活動ができなかったこともあり、譲渡案件数および成約件数ともに目標未達となった。一方では、オンラインを使った会議、相談、セミナー等、従来にはない取り組みを行うなど、業務の幅を広げることができるなど、今後の活動に活かせる新たな成果があった。

・相談件数 : 919 件 (目標比 +319 件)
 ・譲渡案件数 : 66 件 (目標比 ▲21 件)
 ・成約件数 : 20 件 (目標比 ▲9 件)

中期経営計画	(件数)	
件数	目標	実績
相談件数	600	919
譲渡案件数	86	66
マッチング成約件数	29	20
承継計画作成件数	31	11

ウ 事業承継・世代交代集中支援事業

(1) プッシュ型事業承継支援高度化事業

平成29年度より「山口県事業引継ぎ支援センター」において、事業引継ぎ支援事業と兼務で運営しており、県内の各市町村、商工会議所、商工会、金融機関、経済関係団体計61機関が構成機関となり、事業承継を推進している。

6月のネットワーク会議で決議した事業承継支援戦略に基づき、県内を4ブロックに区分し、担当のコーディネータを中心に各構成機関と連携し、セミナーの開催、個別相談の実施、広報活動等を実施した。

事業承継診断件数 : 1,800 件 (目標比 +114 件)
 承継計画書策定件数 : 279 件 (目標比 +107 件)
 ・経営者保証解除支援件数 : 20 件 (目標比 ▲100 件)

4 経営・技術等に係る情報の収集・提供及び情報化の支援

ア 情報収集・提供事業

- (1) 情報提供事業【再掲 11頁】 (総合相談体制整備事業で実施)
- (2) 企業支援情報整備事業【再掲 11頁】 (総合相談体制整備事業で実施)

イ 中小企業等の情報化促進事業

(1) 情報化促進事業【後掲 16頁】(経営管理・技術研修事業で実施)

5 経営・技術等の人材育成

ア 経営・技術等の人材育成事業

- (1) 科学技術普及啓発事業
 - (ア) ジュニア科学教室
 - ・主 催:夏休みジュニア科学教室実行委員会 (事務局:(公財)やまぐち産業振興財団)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び参加者の安全面を考慮した結果、開催は中止とした。

(4) 青少年育成事業

青少年の創造力育成を目的として、県下7つの少年少女発明クラブによる「山口県少年少女発明クラブ活動推進協議会」の運営を支援した。

会議等の開催状況

·協議会開催:1回(7月31日)

担当者会議開催:2回(12月8日、2月17日)

(2) 経営意識向上研修事業

企業経営における経営意識の向上を目的に、知的財産に関する知識習得と県内優良企業の独自の取り組みを紹介するため、工場見学会を開催した。コロナ禍での新しい取組として簡易VRゴーグルを使い、オンラインでの見学を試みた。

内		容	県内企業工場見学
開	催日	時	11月20日(金)14:00~16:00
見	見 学 先		大村印刷(㈱ (防府市)
形 式 オンライン (YouTube を活用)		オンライン (YouTube を活用)	
参	加者	数	28 人

(3) 経営管理・技術研修事業

経営環境の変化に対応した経営システム構築ができる経営者を育てること、企業の技術レベルを支える優れた技術者・技能者を育てることを目的として経営、技術に関する研修会を開催した。

名称・開催日	形式	受講者数
アフターコロナ時代の守りと攻め	WEBセミナー	13名
8月31日(月)	WEDE	13/1
BCP策定訓練セミナー	WEBセミナー	14名
12月4日(金)	WED E C / -	14石
中小企業のためのDX入門セミナー	WEBセミナー	15夕
3月19日(金)	WEDEST	15名

(4) 産業人材創造事業

本県産業力の強化に向けて、「産業人材」の観点からコーディネータ 1 名を配置し、人材創造に係る支援体制を構築するとともに、人材の育成・強化に係る研修等を実施した。全体として、16 種の研修に、151 社、192 名が参加し、満足度は 5 点満点中 4.6 点であった。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響にて 3 種の研修を中止した。

(ア) 中核人材育成研修等の実施

○各種研修の実施

	研 修 名	講師	会場	開催日	社数	人数	満足度
1	10 年先の経営 デザインセミ ナー	やまぐち総合研究所(制) 取締役 中村 伸一	翠山荘 (山口市)	9/10	7	7	4. 0
2	マネジメント 力育成講座 (下関)	㈱B-GROOW 代表取締役 空 直美	海峡メッ セ (下関市)	7/28, 29	9	12	4. 9
3	マネジメント 力育成講座 (周南)	(株)B-GR00W 代表取締役 空 直美	周南地域 地場産業 振興セン ター (周南市)	8/5, 6	8	13	4.9
4	リーダー能力 スキルアップ 講座	(㈱ジャンクション 代表取締役 佐々木 尚樹	山口グラ ンドホテ ル (山口市)	8/26, 27	13	18	4. 7
5	銀行が診る決算書のポイント	(株) K プラニング 代表取締役 小林 正一	翠山荘 (山口市)	7/7	15	18	4. 7

6	成果を上げる ための営業セ ミナー	オフィス未来 代表 麻生 祥三郎	翠山荘 (山口市)	7/13, 14	12	15	4.8
7	【中止】 タウンウォッ チングから学 ぶマーケティ ング実践講座	㈱創研 代表取締役 西原 裕	mirai365 (山口市)	1/27, 28 2/ 4, 5	ı	ı	-
8	8 最新技術活用 セミナー 供 a m u l a p o 代表取締役 田中 克明		Web	3/ 5	14	20	4. 2
	小計			11	78	103	4.6

○県内大手企業等と連携した人材育成の実施

	研修名	講師	会場	開催日	社数	人数	満足度
1	ものづくり生 産性向上セミ ナー	NAO 中所企業診断士事 務所 代表 佐々木 尚樹	mirai365 (山口市)	9/12, 10/10, 11/14, 12/12	7	10	4. 5
2	工場現場で知っておきたい 化学工学	山口大学大学院 教授 佐伯 隆	山口県セミ ナーパーク (山口市)	7/16, 17	9	13	4. 5
3	事故事例から 学ぶ工場安全 講座(1日コース)	三井化学㈱岩国大竹 工場 特命業務推進リーダー 野田 誠司	周南地域地 場産業振興 センター (周南市)	8/25	7	12	4. 6
4	高圧ガス取扱 者養成講座	山口大学大学院 教授 望月 信介	常盤工業会 会館 (宇部市)	9/ 8 , 9	6	9	4. 2
5	上流で考える 商品開発の進 め方	山口大学大学院 教授 福代 和宏	翠山荘 (山口市)	11/20	3	4	4. 5
6	【中止】 事故事例から 学ぶ工場安全 講座(2日コース)	三井化学㈱岩国大竹 工場 特命業務推進リーダー 野田 誠司	三井化学(株) 岩国大竹 工場 (岩国市)	2/18, 19	ı	1	1
7	【中止】 実際の現場で 学ぶ体験型安 全講座	宇部興産㈱	宇部興産㈱(宇部市)	-	-	-	_
	小計 10 32 48 4.5						

○パワーアップ研修の実施

	研修名	講師	会場	開催日	社数	人数	満足度
1	売上向上につ なげる経営戦 略実践講座	㈱ジャンクション 代表取締役 佐々木 茂	山口グラン ドホテル (山口市)	11/17, 18 11/24, 12/ 2	3	3	4. 5
2	経営幹部とし て今、必修の組 織づくりとリ スク管理 (組織づくり)	オフィス未来 代表 麻生 祥三郎	翠山荘 (山口市)	9/28, 29, 10/13, 14	6	6	4. 5
3	経営幹部とし て今、必修の組 織づくりとリ スク管理 (リスク管理)	㈱B-GROOW 代表取締役 空 直美	(山口市)	10/28, 29, 11/5, 6	11	11	4. 7
4	思いっきり財 務研修	(株) K プラニング 代表取締役 小林 正一	翠山荘 (山口市)	8/ 7, 20, 21, 9/ 3, 4, 9/17, 18	11	11	4.8
			19	31	31	4. 7	

○展示会活用型人材育成

	研修名 (展示会開催日)	講師	会場	開催日	参加企業	人数	満足度
1	共同型 1: 危機管理産業展 (RISCON) (10/21~23)	ジャイロ総合 コンサルティ	Web、 東京ビ ッグサ イト	9/17, 24 10/21, 30	㈱伊藤 ㈱三友 侚ちふりや工業 ㈱ナベル	4	4. 3
2	共同型 2: ものづくりパート ナーフォーラム (MPF) (12/11~3/11)	ング(株)	Web	9/17, 11/24, 12/ 2, 1/29	㈱黒磯製作所 ㈱サンポリ	2	4. 5

3	連携型: スーパーマーケット・トレードショー (SMTS) (2/17~19) 出展中止	(株)マジックマ イスター・コ ーポレーショ ン	Web 幕張メッ セ (千葉 県)	12/ 3, 1/19, 2/17	徳山ふくセンター(株) (株)シマヤ 三井ヘルプ(株) オンガネジャパン(株)	4	4.8
	/]	計		11	10	10	4.5

中期経営計画					
数・評価	目標	実績			
セミナー等受講者数	100	192			
企業からの人材育成評価	平均70%以上	調査中			

(イ) 研修等受講費補助金

高度かつ専門的な知識、技術の習得を目的として、中小企業が社員等に民間研修等の受講に要した費用の一部を補助し、28件の研修等に述べ50名が受講した。

(5) やまぐち高度技術者・研究者 OB 等人材バンク事業

やまぐちR&Dラボ等構築推進事業における産業イノベーションを進めるため、 令和元年度に「やまぐち高度技術者・研究者OB等人材バンク」を設置し、技術 交流プラットフォームでの企業のオープンイノベーション活動を、県内の中小企 業のニーズを踏まえ、技術面や企画・マーケティング等で支援するとともに、そ れら人材の知識・経験技術が県内の中小企業の成長に役立つよう情報提供を行う 等により、県内企業の研究開発力、技術力強化等を支援した。

項目	実績	備考
OB 人材登録数(KPI:30件)	40 人	累計 67名(KPI:R1-R3 100人)
マッチンク * 件数 (KPI: 20件)	72 件	累計 74 件(KPI:R1-R3 60 件)
成約件数	7件	累計9件
県内企業サイト登録数	21 社	累計 39 社
大手企業訪問件数	22 社	累計 101 件
中小企業訪問件数	76 社	累計 135 件
関係機関訪問件数 0	72 社	累計 138 件
セミナー開催回数	3 回	延べ48名参加

中期経営計画				
目標	実績			
30 件	40 件			
30 件	72 件			

6 設備投資の支援

ア 設備貸与事業

(1) 小規模企業者等設備貸与事業

資金調達力の脆弱な小規模企業者等の創業又は経営革新等を支援するため、小規模企業者等が必要とする設備の貸与(割賦及びリース)を行った。

前年度の実績(7企業、42,728千円)を大幅に下回った。コロナ禍の影響により企業 が設備投資を控えたり先送りしたことに伴い、申込案件が激減した。

(ア) 申請及び決定状況

(単位:千円)

		음 計 -				内]	訳
			割	賦	事	業	リース事業	
由≇	企業数		1				1	
申請-	金額		1, 728				1,728	_
沙. 宁	企業数		1				1	_
決定	金額		1, 728				1,728	_

(4) 業種別決定状況

(単位:千円)

	割販	ま 事	業	リー	ス事業	É	合	į	计
	企業数	金	額	企業数	金	額	企業数	金	額
製 造 業	1		1, 728	_	_	-	1		1,728
合 計	1		1, 728	_	_	-	1		1, 728

(2) 新事業活動支援設備貸与事業

中小企業者等の創業又は経営革新を支援するため、中小企業者等が必要とする設備の貸与(割賦及びリース)を行った。

前年度の実績(2企業、24,840千円)を上回った。コロナ禍の影響により申込予定であった企業が高額な設備投資を先送りにしたことに伴い当初の見込みを下回った。

(ア) 申請及び決定状況

(単位:千円)

		△ ₹	内訳		
		合 計	割賦事業	リース事業	
申請	企業数	4	4	_	
中雨	金額	95, 750	95, 750	_	
決定	企業数	4	4	_	
伏足	金額	95, 750	95, 750	_	

(4) 業種別決定状況

(単位:千円)

	割與	ま 業	リー	ス事業	合	計
	企業数	金額	企業数	金 額	企業数	金額
製 造 業	4	95, 750	_	_	4	95, 750
合 計	4	95, 750	_	_	4	95, 750

(3) 旧設備資金貸付事業等に係る債権管理

平成26年度まで貸付けを実施した設備資金貸付制度等に係る債権管理を行った。 また、中小企業設備近代化資金に係る償還事務も行った。

· 債権管理案件数: 29件 · 償還事務案件数: 3件

7 創業及び事業化の促進

ア 製品等の評価(目利き)に関する事業

11月4日(水)にJR九州ホール(福岡市)で開催された「KVM(九州・山口ベンチャーマーケット)」において財団から推薦した2社がプレゼンテーションを行った結果、第二創業部門において㈱木原製作所が大賞を受賞し、令和3年2月3日(水)に開催された「Forbes JAPAN『SM ALL GIANTS AWARD2021』」に九州・沖縄・山口県代表として全国決勝大会に出場し、ビジネスプランを発表した。

推薦企業	㈱木原製作所(山口市)
= -	キハラの乾燥で、感動を世界に!食品乾燥に革命をもたらす性
7 - 7	能。ボタン一つで輝く色ツヤ。燃費も既存機器70%削減
推薦企業	CadDent㈱ (防府市)
= -	日本の歯磨き改革 歯科医師開発の歯ブラシとAIによる歯ブ
) – 💎	ラシ選びアプリ

イ 創業・事業化支援コーディネート事業

(1) 県内創業・事業承継促進事業

- (ア) 創業マッチングコーディネータ配置業務
 - (a) 創業マッチングコーディネータの設置 創業マッチングコーディネータ1名を配置し、市町や商工団体との連携のも と、専門性の高い創業案件に対する伴走型支援を実施した。
 - (b) 県内出張相談会の開催

専門性の高い創業・承継案件を掘り起こすため、また第三者承継(継業)について意識啓発を図るため、県内出張相談会を16回開催した。

(c) 県外 (東京 23 区及び大阪市内) 出張相談会の開催

専門性の高い創業・継業案件を掘り起こすため、やまぐち暮らし東京支援センターや山口しごとセンター等と連携し、県外出張相談会を7回開催(オンライン)し、15名の移住創業希望者との個別相談を実施した。

(イ) やまぐち創業マッチングサイト構築等業務

多様な形態 (継業、副業、テレワーク、シェアリングエコノミー等)での創業 を促進するため、全国の創業希望者等が、県内の事業譲渡希望者等の持つ経営資 産を直接検索できるマッチングサイトの構築を行なった。

- ・譲渡希望者 10名
- ・譲受希望者 41名
- ・マッチング面談 1件

中期経営計画						
者・件数	目標	実績				
創業・事業承継の 掘り起こし者数	60	66				
事業承継引継ぎ件数	10	3				

(ウ) 創業総合ポータルサイトシステム運用・保守管理及びデータ、コンテンツ管 理業務

創業に関する知識や行政・支援機関の支援情報、創業者の情報など創業に関する様々な情報を、一元的かつ体系的にわかりやすく発信する創業総合ポータルサイト「創業の窓」の保守管理及びデータ、コンテンツ等の管理を行い、最新の情報提供を行った。

(エ) 後継者育成支援プログラム

経営者として必要な知識の習得を中心とした「経営者基盤形成コース」と、経営者としての資質向上に加え、承継後の事業展開に役立つネットワーク構築を目指す「経営者連携構築コース」から成る、後継者育成支援プログラムを創設した。県内の12社が参加し、今年度は「経営者基盤形成コース」を実施した。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「財務基礎」の開催を見合わせた。

カリキュラム	講師	日にち	参加者	会場
事業の狙い、 自己・自社紹介	_	10/15(木)	12	翠山荘
経営者マインド	(株)K プラニング 小林正一氏	10/15(木)	12	翠山荘
先進企業視察、 意見交換	(㈱ひびき精機 代表取締役社長 松山英治氏	10/16(金)	10	㈱ひびき精機

マネジメントゲーム	石田雄二税理士 事務所 石田雄二氏	11/11(水) 11/12(木)	11	翠山荘
県外進出時のための 山口学(心構え)	大寧寺 住職 岩田啓靖氏	12/9(水)	9	大寧寺
県外進出時のための 山口学(偉人)	一坂太郎氏	12/9(水)	9	湯本温泉旅館 協同組合
県外進出時のための 山口学(文化)	田原陶兵衛工房 13代 田原陶兵衛氏	12/9(水)	9	田原陶兵衛工 房
時流を踏まえた 経営戦略	アラインテック㈱ 代表取締役社長 上田文雄氏	1/15(金)	11	アラインテッ ク㈱
財務基礎	_	_	_	_

(オ) 女性創業促進業務

創業意欲のある女性に対して、経営能力向上、ビジネス応用の観点からスキルアップに必要な知識の取得と人的ネットワークの構築のためセミナー等を実施した。

(a) 実践的女性創業セミナー

・参加者 21名

開催日	講師	カリキュラム	場所
8月21日(金)	鍋山祥子	わたしたちが生きていく社会	mirai365 オンライン
9月4日(金)	大野修平	アカウンティング《財務諸表と会計》	mirai365 オンライン
9月11日(金)	平尾譲二	ビジネスモデルとプレゼンテーショ ン	mirai365 オンライン
9月18日(金)	渡邊将志	ロジカルシンキング	mirai365 オンライン
9月24日(木)	熊澤明子 須藤憲司	デジタルマーケティング デジタルトランスフォーメーション	mirai365 オンライン
10月9日(金)	渡邊将志	経営戦略	mirai365 オンライン
10月16日(金)	熊谷裕平	企業法務とリスクマネジメント	mirai365 オンライン

(b) 女性創業応援ミーティング

【人的ネットワークの構築】

創業準備段階から創業後に至るまで、女性創業者に寄り添ったきめ細やかな 支援を行うことにより女性の創業を支援し、子育て期にあたる女性労働力の向 上や女性の活躍促進を図るため女性創業応援ミーティングを開催した。

開催日	講師	場所	参加者
12月14日(月)	飛田明美 八代谷寿子	mirai365 オンライン	8
12月21日(月)	田村絵里子 原田尚美	下関グランドホテル	5

【メッセの開催】

県内女性創業者の新たなビジネス展開や女性創業予定者の円滑な創業等を 促進することを目的に、オンラインでメッセ(見本市)を開催し、県内企業と の交流の場を設けた。

開催期間:2月2日(火)~2月8日(月)

参加者:115名(企業・一般76名、女性出展者31名、主催2名、運営6名)

中期経営計画						
者・件数	目標	実績				
セミナー等参加者数	90	321				
創業者数	4	10				

(カ) やまぐち創業応援スペース「mirai365」の運営業務

(a) やまぐち創業応援スペース「mirai365」の設置・運営

創業者が有する多様なニーズに対応するため、「チャレンジモール」「コワーキングスペース」「シェアオフィス」「多目的スペース」「カフェスペース」を一体的に提供し、創業希望者や創業者に対し、3名のインキュベーションマネージャー等を延べ426日配置し、施設入居者及び施設利用者(相談者)に対して、経営ノウハウや販路の獲得、ネットワーク構築等に係る相談・指導対応を延べ300件実施した。

(b) 付帯イベントの実施

施設の利用促進、創業者の創業希望者等の交流を通じた創業や新たな事業展開を促進するためのオンラインセミナーを10回開催し、延べ196名が参加した。

(キ) やまぐち創業補助金

新たな事業の創出の促進及び地域課題の解決を通じた地方創生を実現するため 創業に係る経費を補助する補助金を設け、新規創業者の支援を実施した。

• 支援者数:10事業者

・総補助金交付決定額:16,869千円

<補助金交付状況>

創業者 所在地	事業概要	交付決定額 (千円)
宇部市	伴侶動物医療およびペットにまつわるその他サービスの提供	2,000
宇部市	山口県をホームタウンとするプロバスケットボールクラブ創 設による地方創生・観光促進・雇用創出	1, 053
山口市	女性が自ら望んだ時期に妊娠・出産・育児を元気に安心して できる社会づくり	585
光市	歯科医院 地域の人々の口腔の健康の維持、増進	2,000
宇部市	リノベーション事業促進による一般戸建住宅空家減少と若手職人(大工・左官等) への日本伝統建築技術の承継及び熟練の高齢職人雇用創出	2,000
周南市	Yamaguchi×France 山口県産小麦と地元食材を使ったフランス伝統のパンを製造販売	2,000
山口市	地域発副業・フリーランス人材が集うプラットフォームづく りと協働コンサルティングの実施	1, 231
下松市	地域を巻き込むスペシャルティコーヒーを身近に体験できる 自家焙煎珈琲店の開業	2,000
山口市	後進育成と女性活躍に寄与できる、質の高く満足度の高い美 容室の運営	2,000
山口市	山口県産食材を使った鉄板焼屋の開業	2, 000
	合 計	16, 869

(2) 創業補助金フォローアップ事業

平成24年度から平成28年度まで実施した創業補助金(新たな需要を創造するビジネスを興す者の創業費用の一部を補助し、新規創業者等の創出を促進とした事業) 交付後の適切な運営・管理を行った。

・50事業者から事業化等状況報告書を受領

ウ 中小企業等投資支援事業

(1) ベンチャー企業支援事業

(7) VB債務保証事業

創造的中小企業創出支援法に基づき、創業段階のベンチャー企業や創造性ある 新規事業へ展開する中小企業の育成を目的に、金融支援投資を実行してきた。

過去の代位弁済1件に対する求償権回収額は、1,680千円である。今後も引き続き回収の予定である。

(2) ファンド投資支援事業

成長が見込まれる地場中小企業や立地企業の新事業展開を支援するため、「やまぐち夢づくり産業支援ファンド」の投資による支援を行った。

※過去の投資先の管理を行った。

8 販路開拓の支援

ア 下請取引あっせん事業

(1) 下請取引あっせん事業

取引に関する相談に対応し、親企業による不当な取引を防止、抑制するとともに、 下請取引のあっせん等を通じて、県内中小企業の技術面、経営面のレベルアップ、 経営者の意識改革等を図り、高い技術力等が要求される付加価値の高い発注企業と の取引の活性化を促進した。

(ア) 登録の推進

登録企業の状況

区分	前年度ま	令和2	2年度	合計	うち県外数
区 分	での累計	登録	抹消		プロ宗外剱
発注企業	460	3	1	462	70
受注企業	825	8	0	833	13
計	1, 280	11	1	1, 295	83

(イ) 下請取引あっせん状況

取引あっせん状況

区	分	合 計	うち県外数
あっせん件数		334	257
	成 立 件 数	157	142
あっせん結果	不成立件数	257	219
	折 衝 中	510	408
契約成立当初の	金額(千円)	603, 432	580, 262

業種別取引あっせん成立状況

業種					件	数		当	初	成	立	金	額(千円)				
食		料		品		製		造			103						70, 825
金	属	j	製	品	製	<u> </u>	造	業			11						24, 405
	般	機	械	器	具	製	造	業			22						186, 165
電	気	機	械	器	具	製	造	業			2						250, 000
そ	C	ク	他		製	垲	1	業			19						72, 037
計									157						603, 432		

中期経営計画	(件数)			
件数	目標	実績		
取引紹介件数	718	334		
うち国内取引	700	246		
うち海外取引	10	78		
うち航空機・宇宙機器分野	8	10		
取引成約件数	149	157		
うち国内取引	140	126		
うち海外取引	5	21		
うち航空機・宇宙機器分野	9	10		
当初取引成立金額 (百万)	685	603		
うち国内取引	440	536		
うち海外取引	5	11		
うち航空機・宇宙機器分野	240	56		

(ウ) 発注企業情報収集提供事業

県内外の発注企業72社を訪問し、発注開拓活動を積極的に展開するとともに、 下請中小企業を訪問して下請企業が直面している新規取引先の開拓等の相談に 対応した。

(工) 広域商談会開催事業 【再掲 7頁】

県内外の発注企業のニーズを把握し、商談会を開催することで県内下請企業の PR及び受注拡大を図った。

(オ) 個別商談会等開催事業

発注企業に県内中小企業が参集しての商談会と企業の要望により、発注企業同行し、県内中小企業を訪問しての個別商談会を開催した。

商 談 会 名	個別商談会
開催場所・回数	県外発注企業を県内企業に同行しての商談会 3回
目的	発注企業のニーズに応えるため、及び県内企業の販路開拓 のため商談会を開催した
参加企業数	発注企業 3 社 受注企業 4 社
成果等	商談件数 4件 商談成立件数・金額 フォロー調査中

(カ) 下請取引適正化の推進

講	習	会	名	下請中小企業取引条件改善講習会
開	催		日	11月27日(金)
場			所	防長苑(山口市)
講			師	猪俣俊雄法律事務所 弁護士 猪俣 俊雄
目			的	下請取引の適正化の推進
参	加企	業	数	35 名
成	果		等	契約書の重要性や必要性及び下請代金法について学び、 取引の適正化への認識が高まった

(キ) 下請かけこみ寺

下請代金法や中小企業の取引問題に詳しい相談員を配置し、中小企業者の取引に関する様々な悩み等に対し、適切なアドバイスを行った。

(ク) 調査及び情報の収集・提供

<各種調査>

	名	称		調査研究目的	調査時点	備	考
発注	主二一	- ズ 訓	有查	取引あっせん	8月1日	対象企業数	1,261社
受注	企業	実態調	周査	取引あっせん	10月1日	対象企業数	664社
企	業	訪	問	情報収集提供等	随時		

<情報提供>

名称	備考
山口県企業ガイドブック	(配布先)県内外の発注企業

(ケ) やまぐち新技術研究会

山口県圧電デバイス研究会で培った販路開拓を見据えた製品開発ノウハウを 基に、新たなプロジェクト、製品開発を行うため、やまぐち新技術研究会を開催した。

4	名 称		開催日	場所	参加者
研	究	会	9月18日(金)	山口市	17 社 24 名

(コ) 技術力・新製品等発表会

山口県経営者協会と連携し、協会主催の「県内企業の技術力・新製品等発表会」 に当財団から県内中小企業を推薦、3企業が2会場でプレゼンテーションを行なった。 大手企業の工場長・所長等が参加する中、会社概要や製品の特色など、広くPRする ことができ、今後の販路開拓に向けた手応えを感じたと、参加企業からの報告があった。

開	催	日	時	10月23日(金)、2月23日(火)
場			所	山口市、下関市
参	加	企	業	㈱伸和精工、中村建設㈱、長山電機産業㈱
備			考	㈱伸和精工は、テレビ局からの取材を受けニュース番組で特集 が組まれた。中村建設㈱は製品の問い合わせが数件あった。

イ 販路開拓・販路拡大促進事業

(1) 環境関連製品販路開拓事業

県内で製作されているリサイクル製品などの環境関連製品の販路を開拓するため、 やまぐちエコ市場と共同でマッチング事業等を実施した。

<展示会への参加>

展	示会	会 名	第13回川崎国際環境技術展
期		間	1月21日(木)~2月5日(金)
場		所	オンライン開催
目		的	県内中小企業が開発・保有している優れた環境関連製品・ 技術の首都圏での販路開拓を図る
参	加企	業数	3 社
成	果	等	ログイン数 6,833 回 総ブース訪問数 23,320 回 オンライン商談数 2 件

(2) 販路開拓支援事業

地域中小企業の振興を図ることを目的に、自社製品・技術等の販路開拓を行うため、首都圏コーディネーターと連携し、販路拡大を支援した。

目	的		首都圏における県内中小企業の地域資源活用・農商工連 携製品のPRと販路の更なる拡大を図る
			携製品のPRと販路の更なる拡大を図る
成	果	等	商談成立件数・金額
万 人	木	守	成約件数:5件 成約金額:14,590 千円

(3) 航空機・宇宙機器産業参入促進事業

県内の優れた技術を有する企業のグループ化を図り、成長が期待される先端産業において、付加価値の高い大型案件を受注できる体制を整備することにより、地域経済を牽引する中堅企業を輩出し、雇用創出を図るための支援を行った。

(7) JISQ9100認証規格取得状況

山口県航空宇宙クラスターに令和元年度加入した企業1社が認証規格取得中。

(イ) 航空会議議の開催

開催日	場所	参加 者数	内容
6月2日 (火)	山口市	6社 10名	・令和2年度事業の説明
9月17日(木)	山口市	6社 10名	・展示会出展について

12月25日 (金)	山口市	6社 9名	・展示会商談会出展について ・動画制作について
3月9日 (火)	山口市	6社 9名	・令和2年度事業の振り返り ・令和3年度事業について

(ウ) 展示会への出展

展	示	会	名	エンジンフォーラム神戸
期間		間	10月20日(火)~21日(水)	
場		所	神戸国際展示場	
目			的	山口県航空宇宙クラスターの航空宇宙分野への進出を図る
参加企業数		数	3 社	
成	果	:	等	商談件数 26 件、見積依頼 3 件 商談成立件数・金額 フォロー調査中

展示会	名	衛星測位・位置情報展 (SATEX) 2020	
期	間	11月4日(水)~6日(金)	
場	所	東京ビッグサイト	
目 的 山口県航空宇宙クラスターの航空宇宙分野への進出		山口県航空宇宙クラスターの航空宇宙分野への進出を図る	
参加企業	数	1 社	
成果	等	商談件数 9件、見積依頼3件 商談成立件数・金額 フォロー調査中	

(工) 助成金交付状况

・総助成金交付実績額:713千円 (単位:千円)

内 容	助成対象者	交付実績額
山口県航空宇宙	㈱ひびき精機	82
クラスター助成金	㈱伸和精工	201
クラスター 助成金	㈱アクシス	430
	計	713

(オ) やまぐち産業イノベーション促進補助金助交付状況

・総助成金交付実績額:33,360千円

(単位:千円)

助成対象者	テーマ	交付実績額
㈱アクシス(代表申請者) ㈱ひびき精機 ㈱伸和精工 RyuTeC㈱	液体式小型ロケット空中発射事業 に於ける発射装置の研究開発	15, 000
(株) (株) Pale Blue	アディティブ技術の活用による 小型衛星部品の研究開発	15, 000
㈱黒磯製作所(代表申請者) 宇部興機㈱ 学校法人千葉工業大学	空中発射ロケット用電動ターボ ポンプの開発	3, 360
		33, 360

第55回機械振興賞受賞

一般財団法人機械振興協会が表彰する「機械振興 賞」に、本年度新設された中小企業支援機関を表彰す る「中小企業基盤整備機構理事長賞」を、当財団が山口 県からの補助事業として取り組んでいる「山口県航空宇 宙クラスターの活動支援」が受賞した。併せて支援担当 者として、当財団職員2名も表彰された。なお、コロナ禍 の影響で表彰式が中止となったため、令和3年3月16日 山口市において報告会を開催した。



(4) 海外展開総合支援事業

- (7) 海外展開支援拠点整備事業
 - (a) コーディネータの配置

海外販路開拓コーディネータを4名配置し、県内中小企業の事業展開の段階に応じたアドバイスを行い、助成金申請指導や、商談会への参加企業のサポートを行った。また、企業からの相談対応や企業訪問を行い、海外展開に向けた計画(基本方針)の策定・ブラッシュアップを行った。

(イ) 展示商談会プロモート

- (a) FoodJapan2020 (シンガポール) 展示会プロモート事業実施業務 FoodJapan2020出展に際し、マーケティング、展示会サポート (当日及び後日)、展示会での商談設定、商談後のアフターフォローを予定していたが、 FoodJapan2020の開催が1年後に延期となったため、現地企業とのオンライン 商談に内容を変更し、事業を実施した。
- (b) METALEX2020 (タイ) 展示会プロモート事業実施業務
 METALEX2020出展に際し、マーケティング、展示会サポート(当日及び後日)、
 展示会での商談設定、商談後のアフターフォローを予定していたが、
 METALEX2020の開催が現地渡航により出展が中止となったため、現地企業との
 オンライン商談に内容を変更し、事業を実施した。

(ウ) 個別支援事業

海外販路開拓等に要する経費を助成することを目的とした、海外販路開拓支援 助成金制度について「海外販路開拓支援事業」と「海外での新たなサプライチェ ーン構築事業」「ビジネス渡航支援事業」を設け、募集を3回行い、同助成金を 申請企業に対し交付した。

· 交付企業数 34社 交付金額 15,163千円

·成約件数 6件 成約金額 2,047千円

支 援 内 容	企業数	取引件数
FoodJapan20207° ロモート事業	7	25
METALEX2020プ ロモート事業	3	7
海外販路開拓支援助成金	34	55
CDによる個別支援	49	14
# 	93	101
(再掲)助成金除く計	59	46

(5) 中小企業スマートビジネス推進事業 【再掲 5頁】

(ア) 先進モデル創出補助事業

先進モデル創出補助金に「新型コロナウイルス感染症関連枠」を設定し、新型コロナウイルス感染症の影響による県内中小企業の売上減少等に対応するため、 困難な状況にあっても成長を目指す中小企業の取組への迅速な支援を図った

(4月10日に交付決定)。

中期経営計画			
件数	目標	実績	
カンファレンスによる ハンズオン支援件数	40	21	
単年度付加価値向上 企業数	10	23	

実 績		
枠数	執行額	
21 件	27,929 千円	

(イ) 売り込み支援

時期	展示会	出展 社数
2月17日(水)~19日(金)	スーパーマーケットトレードショー (幕張メッセ) [内容] 日本最大級の食品流通・小売業の展示会 新型コロナ感染症拡大から出展中止	8社

(6) やまぐち頑張る企業応援プロジェクト事業

公益財団法人全国中小企業振興機関協会から採択を受け、令和5年度までの複数年実施事業。地域の稼ぐ力と働く場を維持・創出し、経済の活性化を図るべく、地域資源活用を始めとする中小企業者等の新事業展開(新商品開発、販路開拓等)等の取り組みを支援した。

(7) 高度人材育成事業

HII. HI	管理面・営業面の付加価値向上による新規取引先開拓を目的に、
概 要	データ等を活用した高度な分析が出来る人材の育成を行う。
	研修委託先を選定し、県内企業 10 社が参加。
実 施 内 容	今年度は入門編の全体研修に加え、各社へのヒアリングから課
	題抽出を行い、個別の研修を行った。

(イ) グローバル産業人材育成事業

HII. HI	海外展開による売上拡大を目的に、現地での市場調査を通して
概 要	海外展開促進が可能な人材育成を行う。
	新型コロナウイルス感染拡大の影響から事業計画を見直し、オ
実 施 内 容	ンラインを活用した研修・セミナー及び商談会の開催を想定し
	た内容に変更した。

(ウ) 売上拡大事業

HIL TH	店舗や商談・展示会等での売上拡大を目的に、出口を見据えた	
概 要		改良やプロモーションについての支援を行う。
実施内容	県内企業 14 社の製品の目利き会実施し、バイヤーや商社等の目	
	利き者が市場ニーズに合う助言をし、改良に向けた伴走型支	
	援・フォローを行った。必要に応じ、助成金を交付し改良を実	
		施している。採択件数5社 交付決定額3,090千円

(7) 新型コロナウイルス対策営業持続化等支援事業 【再掲 5頁】

新型コロナウィルス感染症により大きな影響を受けている事業者に対して、営業 の維持及び発展を図る取組を支援した。

(8) 中小企業再始動支援事業 【再掲 6頁】

(ア)中小企業再始動補助金

新型コロナウィルス感染症により大きな影響を受けている事業者に対して、 感染リスクに配慮した環境整備や新事業展開等を通じて事業活動の再始動に向けた 意欲ある取り組みを支援した。年3%の売上増を目標としている。

(イ) 大規模展示会等への出展支援 【再掲 6頁】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、販路を失われた県内中小企業の展示会 出展への支援を行うことで、新規に販路を開拓し、企業の経済活動の再始動に繋げる ことを目的に、首都圏で開催される大規模展示会への出展企業を募集し、その出展料 の負担軽減を図った。

9 技術研究開発等の支援

ア 新製品の研究開発等に関する助成等事業

(1) メカトロ技術センター運営事業

メカトロ技術センター(宇部市)の施設(建物、機器等)の管理、研究室の貸し付けを実施した。

・研究室の利用状況:入居企業 6社

利用企業名	利用期間	研究・開発等の内容
(有)ハーモニーズ	平成24年4月 ~令和3年3月	産業用運搬設備のコントロール システム等の研究
㈱アトミテック	平成24年4月 ~令和3年3月	TV会議システムの開発
㈱セルス中国環境資材	平成24年4月 ~令和3年3月	伐採木のリサイクル事業及び海 洋河川環境事業に係る研究開発
(有優とぴあ	平成24年4月 ~令和3年3月	出張理美容専用機器の研究開発
中国コイケ㈱	平成24年4月 ~令和3年3月	LED関連商品開発、電子機器の開発
多田電気管理事務所	平成28年6月 ~令和2年3月	デマンド監視装置の研究開発

(2) 債務保証事業

高度技術の研究開発を側面的にバックアップするため、研究開発に係る所要資金 調達のための債務保証事業を実施してきた。

現在は、これまで債務保証した企業の育成支援と債務保証の管理を行っている。

10 技術交流・技術移転の促進

ア 知財活用支援事業

(1) 中小企業等知財支援事業

中小企業等の知財相談に対応するため、企業や地域における現場ニーズへの対応や、大学、公設試験研究機関、中小企業支援機関等との連携による支援等を行う知的専門人材の配置と、特許等の国内出願を行おうとする中小企業に対して、出願に要した費用を助成することにより、国内での知的財産に係る戦略的なビジネス展開を支援し、企業競争力、企業経営の質的向上を図った。

(ア) 開放特許や未利用特許などの地域中小企業の技術移転を進める「中小企業知財 コーディネータ」を配置した。

実施内容	実施件数
企業訪問	197 件
ライセンス契約等締結支援	2件
開放特許等の個別案件紹介	8 件
知財に関する相談	145 件
外国出願支援事業申請案件の掘起こし	8件

(イ) 地域における知財ニーズへの対応や各支援機関と の連携による知財に関する支援を行う「地域連携 知財コーディネータ」を配置した。

実施内容	実施件数
支援機関訪問	48 件
企業訪問件	176 件
知的財産権の出願支援	17 件
開放特許の個別案件紹介	2 件
知財に関する研修会等の開催	11 回
知財に関する相談	283 件

中期経営計画 (件数)				
件数目標実績				
知財等相談	2,000	60		
知財等出願指導	428	45		

(ウ)国内出願助成金

・総助成金交付決定額:1,638千円

補助金交付状況 (単位:千円)

補助対象者	発明等の名称	出願 費用	交 付 決定額
	新規乾燥市場開拓促進に必要なコン		
㈱木原製作所	ベア式大量乾燥用「搬送乾燥装置」の	362	181
	特許化		

㈱木原製作所	新規乾燥市場開拓促進に必要な海産 物用「魚介類乾燥システム」の特許化	456	219
㈱シーエス	医療用加圧ブラジャーの特許出願	400	200
㈱三友	三友防災システムの確立と普及	468	234
三笠産業㈱	窒化ホウ素凝集球形粒子の製造方法	386	192
新光産業㈱	鉢植胡蝶蘭集合体の実用新案	432	215
中村被服㈱	保温容器用段差構造(及びそれを備え た保温容器)	363	181
(有)大進工業	樹脂金網製造装置の特許申請	433	216
合 計	8件	3, 300	1, 638

(2) 中小企業等外国出願支援事業

特許等の外国出願を行おうとする中小企業に対して出願費用を助成することにより、外国での知的財産にかかる戦略的なビジネス展開を図る支援を実施した。

・総補助金交付決定額:2,424千円

補助金交付状況 (単位:千円)

補助対象者	発明等の名称	出願国	出願 費用	交 付 決定額
協和建設工業㈱	商標「MOLE DRAINER」	アメリカ、インド、 タイ、フィリピン、 ベトナム、マレー シア、中国、韓国、 台湾	656	310
協和建設工業㈱	商標「PLAPIPER」	アメリカ、インド、 タイ、フィリピン、 ベトナム、マレー シア、中国、韓国、 台湾	656	310
㈱サンライン	商標「図形」	韓国、中国、香港、 台湾	1, 309	600
(有)堀江酒場	商標「金雀飛翔」	中国	278	131
(有エヌエステクノ	金属ナトリウム処理 システム	中国	800	400
何ひわだや	商標「Kasane」	フランス	208	98
中国電化工業㈱	商標「YAGIMAITO」	マレーシア、中国	267	129
中国電化工業㈱	商標「CDK EASTON」	マレーシア、中国	267	129

CadDent(株)	商標「GUGU」	中国、台湾	220	105
山城屋酒造㈱	商標「鴻城乃誉」	中国	40	19
山城屋酒造㈱	商標「杉姫」	中国	40	19
(株)セイラン	商標「蘭王」	香港	366	174
合 計		12 件	5, 107	2, 424

事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告に事業の詳細を記載しているため、一般社団法人及び一般財団 法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書において、記載すべ き事項が存在しないので作成していない。